

龍谷大学

# 経済学論集

## 論文

1920年代タイにおける無主地開拓の進行と  
その法的規制の試み(中) .....北原 淳

中国の「走出去」政策と対外直接投資の促進.....姜 紅祥  
——技術獲得を中心に——

Socio-Economic Determinants of Food  
Shortage Problems in Ethiopia:  
The Case of Amhara National Regional State,  
Simada District (A Path Analysis Model).....Teshome Temesgen Tilahun

The Role of Human and Social Capital on  
Small Enterprise Growth:  
Evidence from Sri Lanka..... B. NISHANTHA  
Yoshio KAWAMURA

## 研究ノート

「経済成長とグッド・ガバナンス」に貢献する  
政府の構造と質に関する考察.....川北博史



## 経済学会会則

- 第1条 本会は、龍谷大学経済学会と称し、事務所を龍谷大学内に置く。
- 第2条 本会は、経済学を中心とする学術の研究促進とその普及を目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- (1) 研究会の開催 (3) 講演会の開催  
(2) 機関誌その他の出版 (4) その他、本会が適当と認める事業
- 第4条 本会は、本会設立の趣旨に賛同する次の会員をもって組織する。
- (1) 名誉会員 学会評議員会において名誉会員と認定された者。  
(2) 普通会員 ① 龍谷大学経済学部の固有科目担当専任教員。  
② 本学専任教員のうち学会評議員会の承認を得た者。  
③ 龍谷大学経済学部卒業生ならびに龍谷大学大学院経済学研究科課程修了者のうち会員資格の継続を希望する者。  
(3) 学生会員 龍谷大学経済学部学生ならびに大学院経済学研究科の学生。  
(4) 賛助会員 本会の事業を賛助する者。
- 会員は、本会の諸事業に参加し、本会の出版物の配布を受けることができる。
- 第5条 本会に、全教員会員をもって評議員とする評議員会を置く。  
評議員会は、年間活動の策定、予算の承認、役員を選出、会則の改正、その他、本会の運営に関する基本事項について議決する。
- 第6条 本会の運営にかかわる日常業務には、下記の役員によって構成される学会運営委員会がこれにあたる。但し、必要に応じて副会長を置くことができる。また、編集長は、編集委員の互選により決定する。
- (1) 会長 1名 (4) 会計委員 1名  
(2) 編集委員 若干名 (5) 会計監査委員 1名  
(3) 庶務委員 1名
- 第7条 役員は、すべて評議員中より互選し、その任期は1年とする。ただし、重任を妨げない。
- 第8条 本会の経費は、会費、事業収入、寄付金、および龍谷大学からの助成金をもってこれにあてる。会費は、普通会員、賛助会員については、年額5,000円(別に入会金2,000円)、学生会員については年額3,000円(別に入会金2,000円)とする。

### 学会評議員(ABC順)

- |        |             |       |                   |
|--------|-------------|-------|-------------------|
| ○伊達浩憲  | ○木下信        | 西垣泰幸  | ○谷直樹              |
| 田園     | ○小峯敦        | 西本秀樹  | 寺田宏洲              |
| 細田信輔   | 小瀬一         | 大林稔   | 辻田素子              |
| 兵庫一也   | クラブチックマリウシュ | 大原盛樹  | 若山琢磨              |
| 井口富夫   | ○李態妍        | ◎大前真  |                   |
| 石川両一   | 牧大樹         | ○佐々木淳 | ◎印は会長<br>○印は学会各委員 |
| ○金子裕一郎 | 松岡憲司        | 島根良枝  |                   |
| 川元康一   | ○松島泰勝       | 高田美德  |                   |
| 河村能夫   | 溝渕英之        | 竹中正治  |                   |

# 目 次

## 論 文

1920年代タイにおける無主地開拓の進行と  
その法的規制の試み（中）……………北 原 淳（1）

中国の「走出去」政策と対外直接投資の促進……………姜 紅 祥（21）  
——技術獲得を中心に——

Socio-Economic Determinants of Food  
Shortage Problems in Ethiopia :  
The Case of Amhara National Regional State,  
Simada District (A Path Analysis Model) ……Teshome Temesgen Tilahun（51）

The Role of Human and Social Capital on  
Small Enterprise Growth : B. NISHANTHA  
Evidence from Sri Lanka ……Yoshio KAWAMURA（69）

## 研究ノート

「経済成長とグッド・ガバナンス」に貢献する  
政府の構造と質に関する考察……………川 北 博 史（91）

## 2011年度経済学会評議員総会

(2011年5月25日)

### 1. 2010年度事業報告について

(1) 学会誌「龍谷大学経済学論集」発行

第50巻第1・2号 (2010年12月24日発行) 10編 (専・論1本)

【参考 2009年度】

第49巻第1号 (民際学特集・田中宏教授退職記念号)

(2009年9月15日発行) 25編 (専・論2本)

第49巻第2号 (2009年10月15日発行) 4編 (専・論1本)

第49巻第3号 (2009年12月15日発行) 7編 (専・論2本)

第49巻第4号 (2010年3月15日発行) 8編 (専・論1本)

(2) 学生論集 第53号 (2011年3月17日発行) 13編

(3) 国際学術雑誌「Asia Pacific Journal of Economics and Business」

① 2010年度の状況について

(4) 学生への補助

① 学生研究活動助成

【事前給付型 6月募集】 助成件数：12件

【成果表彰型 11月募集】 助成件数：2件

② 経済学部ゼミナール連合協議会への補助

(5) 他大学等との学会誌交換

2010年度発行分の他大学等への送付件数：357件

(6) 講演会の開催

【主催 (セミナー)】

日時：2010年11月4日 (木) 17:00-18:30

場所：深草学舎紫英館2階 第1共同研究室

タイトル：「A New Necessary Condition for Implementation in Iteratively Undominated Strategies (with Robert Serrano)」

講師：国本 隆氏 (一橋大学経済学研究科講師)

【主催 (研究会)】

日時：2010年11月8日 (月) 17:00-18:00

場所：深草学舎紫英館2階 第1共同研究室

タイトル：「Corruption in Procurement Auction with Public Officials: Who Do Not Commit to Practicing Corruption」

講師：堀江 進也氏 (オハイオ州立大学経済学部大学院)

## 【共催（講演会）】

日時：2010年7月8日（木）18：00～20：30

場所：深草学舎21号館101教室

- ① タイトル：「経済パラダイムの大転換～ラトウーシュの脱成長論について」

講師：中野 佳裕氏（立命館大学非常勤講師）

- ② タイトル：「楽しい社会を目指して」

講師：セルジュ・ラトウーシュ氏

## 2. 2010年度会計決算報告について

〈一般会計〉

収入の部

2010/4/1～2011/3/31

(単位：円)

項 目	内 訳	2010年度予算	2010年度決算
前年度繰越金		3,504,041	3,504,041
学部生普通会員費	1,689名	8,285,000	7,815,500
編転入生普通会員費	14名	70,000	84,000
大学院普通会員費	31名	130,000	83,500
教員普通会員費	35名	174,000	178,500
賛助会員費	2名	5,000	10,000
雑収入		0	0
前受金	2011年度会費603名	2,830,000	3,005,000
前期末前受金	2010年度会費	-2,822,000	-2,822,000
特別会計より取り崩し		2,500,000	2,500,000
計		14,676,041	14,358,541

〈特別会計〉

前年度繰越金 21,838,981円

利 子 36,983円

一般会計より 0円

特別会計より取り崩し -2,500,000円

一般会計 残高 9,104,433円

特別会計 残高 19,375,964円

次年度繰越金 19,375,964円

合 計 28,480,397円

## 支出の部

(単位：円)

項 目		2010年度予算	2010年度決算	増 減
事業費	学会誌発行費			
	印刷費	2,500,000	961,800	1,538,200
	原稿料	700,000	450,000	250,000
	査読料	250,000	110,000	140,000
	原稿編纂料	50,000	50,000	0
	発送費	250,000	141,170	108,830
	学会活動費			
	講演会費	400,000	86,478	313,522
	学生論集費	1,800,000	1,494,800	305,200
	国際学術雑誌費	2,600,000	0	2,600,000
	計	8,550,000	3,294,248	5,255,752
研究活動費	学生研究活動助成費	2,500,000	1,904,162	595,838
	その他	200,000	0	200,000
	計	2,700,000	1,904,164	795,838
事務費	消耗費	15,000	882	14,118
	通信費	40,000	40,300	-300
	雑費	20,000	3,985	16,015
	会議費	25,000	7,150	17,850
	計	100,000	52,317	47,683
	小計	11,350,000	5,250,727	6,099,273
	予備費	496,041	3,381	492,660
	特別会計へ	0	0	0
	次年度繰越金	2,830,000	9,104,433	-6,274,433
	合計	14,676,041	14,358,541	317,500

## 2010年度 支出の部 明細

(単位：円)

学会誌発行費 (印刷費)		国際学術雑誌費	0
1.28 第50巻第1・2号	961,800	計	0
計	961,800	国際学術雑誌費計	0
(原稿料)		研究活動費	
1.28 第50巻1・2号	400,000	(学生研究活動助成費)	
2.22 第50巻1・2号(海外送金)	50,000	7.22 2010年度学生研究活動助成 (事前給付型)	158,000
計	450,000	12.16 経済学部ゼミナール 連合協議会への補助	280,000
(原稿編集料)		1.28 2010年度学生研究活動助成 (成果表彰型) 助成金2名	80,000
1.28 第50巻及び学生論集第53号	50,000	3.17 2010年度学生研究活動助成 (事前給付型)に係る残金返金	-35,838
計	50,000	(その他)	
(査読料)		計	1,904,162
5.20 第49巻4号	10,000	研究活動費計	1,904,162
1.28 第50巻1・2号	100,000	事務費	
計	110,000	(消耗品費)	
(発送費)		6.28 2010年度出納帳購入	882
6.28 第49巻第1～4号	97,800	計	882
3.23 第50巻第1・2号	43,370	(通信費)	
計	141,170	9.30 切手の購入	33,800
学会誌発行費計	1,712,970	3.1 原稿料の海外送金に伴う手数料	6,500
学会活動費 (学会通信費)	0	計	40,300
計	0	(雑費)	
(講演会費)		12.27 お供え物購入	2,835
7.2 講演会に係る通訳謝礼	22,222	3.9 返信用ハガキ購入	1,150
7.2 講演会に係る通訳者の交通費	840	計	3,985
11.1 講演会に係る講師謝礼	16,666	(会議費)	
11.1 講演会に係る通訳者の交通費	28,000	6.28 役員会 昼食代	7,150
11.5 講演会に係る講師謝礼	18,750	計	7,150
計	86,478	事務費計	52,317
(学生論集費)		予備費	0
3.9 第53号執筆謝礼用図書カード		計	0
2万円×13名	260,000	合計	5,250,737
3.23 学生論集第53号	1,234,800	特別会計	0
計	1,494,800	総合計	5,250,737
学会活動費計	1,581,278		

3. 2010年度会計監査報告について（略）
4. 2010年度退会について  
松浦さと子准教授（2011年度政策学部への移籍に伴う退会）
5. 2011年度新規入会について  
田園講師  
溝渕英之講師
6. その他
7. 2011年度事業計画（案）について
  - (1) 学生への補助
    - ① 学生研究活動助成  
事前給付型助成：6月中募集開始予定  
成果表彰型助成：11月上旬募集開始予定
    - ② 経済学部ゼミナール連合協議会への補助（28万円）
  - (2) 研究・講演会
  - (3) 学会誌「龍谷大学経済学論集」発行  
第51巻第1号～第4号（うち1号は松岡利道教授追悼号）  
経済学会50周年記念研究プロフィール
  - (4) 国際学術雑誌「Asia Pacific Journal of Economics and Business」
    - ① 日本特集号について
    - ② その他
  - (5) 学生論集発行
    - ① 応募資格：本学経済学部在学学生及び2010年度卒業生
    - ② 内容：経済学などに関する論文，調査，研究ノート，書評など。  
共同研究，ゼミ対抗討論会のまとめでも良い。
    - ③ 締切（予定）：2011年12月15日（木）
    - ④ 発行（予定）：2012年3月15日（木）【卒業式】  
※指導教員の指導を受けた後に指導教員の推薦書を添付の上で提出。
  - (6) その他

平成23 (2011) 年 5 月13日

経済学部長

西本秀樹殿

経済学会会長

大前真殿

経済学部ゼミナール連合協議会

代表 小林善雄

会計 神宮喬成

平成23年度経済学部ゼミナール連合年間予算に関する助成金のお願い

拝啓

初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。平成23年度経済学部ゼミナール連合年間予算を以下のようにご報告いたします。

つきましては、経済学部および経済学会で助成金についての審議を戴き、ご検討戴けますよう、どうぞ宜しくお願いいたします。

敬具

記

年間予算計画

収入の部		支出の部		
経済学会援助費	¥418,035	事務費	1回生スポーツ大会	¥4,000
前年繰越金	¥157,846		2回生スポーツ大会	¥2,500
懇親会参加費 (500円×100人)	¥50,000		研究報告費	¥40,000
受取利息	¥19	懇親会費用		¥150,000
		生協商品券		¥145,000
		ゼミ連運営費用		¥284,400
総計	¥625,900	総計		¥625,900

## 各事業の支出見込

## 1 回生スポーツ大会

救急用品一式	¥3,000	
模造紙	¥500	
テープ(5本)	¥500	
計	¥4,000	

## 2 回生スポーツ大会

上位3チームへの賞品	¥35,000	生協商品券
救急用品一式	¥1,500	
模造紙	¥500	
テープ(5本)	¥500	
計	¥37,500	

## 研究報告会

優秀発表ゼミナールへの賞品	¥100,000	生協商品券
抽選会の景品	¥10,000	生協商品券
懇親会の費用	¥150,000	
事務費・その他	¥20,000	
冊子作成費用	¥20,000	
計	¥300,000	

## ゼミ連運営費用

パソコン東芝 (dynabook R 731 R731/W2TB)	¥130,000	HP 作成
HDD (0S03191)	¥10,000	
デジカメ (パナソニック LUMIX DMC-TZ20-K)	¥25,500	
ホワイトボード (W499 2枚)	¥34,000	
コピーカード (30枚)	¥30,000	
プリンターインク (e-s-50r)	¥19,900	
文具 (コピー紙も含む)	¥10,000	
清掃道具	¥5,000	
処分費	¥20,000	ゼミ連教室内の破損備品処分費用
計	¥284,400	

## 支出総計

1 回生スポーツ大会	¥4,000	
2回生スポーツ大会	¥37,500	内、¥35,000は生協商品券で計上
研究報告会	¥300,000	内、¥110,000は生協商品券で計上
備品	¥284,400	
計	¥625,900	

以上

平成23(2011)年5月13日

経済学部長

西本秀樹殿

経済学会会長

大前真殿

経済学部ゼミナール連合協議会

代表 小林善雄

会計 神宮喬成

## 経済学部ゼミナール連合協議会 年間計画書

拝啓

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。さて、この度ゼミナール連合では昨年度も行われた2回生スポーツ大会・研究報告会に加えて今年は新たに1回生スポーツ大会を含めた3つの行事を行いたいと思っております。

つきましては3つの行事の実施目的などをご覧いただき、更にご教示賜りたくお願い申し上げます。

敬具

## 1回生スポーツ大会

実施日：7月6日(水)

予算：4,000円

実施内容：経済学部の1回生が集まり体育館でバレーボールをする。

実施目的：1回生が入学して早1ヵ月が経とうとしていますが、より一層入門演習内の仲間と「交流」を深める事を第一の目的とします。また「演習Ⅰ」を決定する判断材料となる、「経済学部ゼミナール対抗研究報告会」を主催しているゼミ連を知ってもらう事が第二の目的です。

## 2 回生スポーツ大会

実施予定日：10月26日

予 算：39,000円

実施内容：経済学部で2回生が集まり体育館でバレーボールをする。

実施目的：2回生後期から「演習Ⅰ」が始まり、メンバーが変わり、多くの人と知り合います。この演習Ⅰのメンバーは、これから卒業するまで共に同じ分野を研究していく仲間です。今後のゼミ活動を活発にするため、この行事を通してゼミ内外の仲間と「交流」を深める事を今回の目的とします。

## 研究報告会

実施予定日：12月14日

予 算：300,000円

実施内容：それぞれのゼミで研究してきた活動を発表し、その中で順位を決める。

実施目的：3、4回生を中心とし、日頃の研究成果を学内で報告します。これにより互いに経済学に対して興味を深めると共に、各ゼミのプレゼン力の向上を目的とします。また下回生の見学により、学習意欲向上も視野に入れ、開かれた報告会にしたいと考えています。

## 8. 2011年度予算について(案)

〈一般会計〉

収入の部

2011/4/1~2012/3/31

(単位:円)

項 目	内 訳	2011年度予算	2010年度決算	増 減
新入生(学部)会員費	585名	2,923,000	2,715,000	208,000
編 入 生 会 員 費	13名	65,000	84,000	-19,000
大 学 院 生 会 員 費	40名	122,000	83,500	38,500
在 学 生 会 員 費	1796名(県別学生情報)	5,388,000	5,100,500	287,500
教 職 員 会 員 費	34名(内新入会員2名)	174,000	178,500	-4,500
賛 助 会 員 費		0	10,000	-10,000
雑 収		0	0	0
定期預金取り崩し		0	2,500,000	-2,500,000
当 年 度 収 入 額		8,672,000	10,671,500	-1,999,500
前 年 度 繰 越 金		9,104,433	3,504,041	5,600,392
前 期 末 前 受 金	2011年度会費	-3,005,000	-2,822,000	-183,000
前 受 金	2012年度入学者	3,015,000	3,005,000	10,000
計		17,786,433	14,358,541	3,427,892

支出の部

(単位:円)

項 目	2011年度予算	2010年度決算	増 減	
事 業 費	学 会 誌 発 行 費			
	印 刷 費	2,800,000	961,800	1,838,200
	原 稿 料	1,000,000	450,000	550,000
	査 読 料	250,000	110,000	140,000
	原 稿 編 纂 料	50,000	50,000	0
	発 送 費	250,000	141,170	108,830
	学 会 活 動 費			
	講 演 会 費	250,000	86,478	163,522
	学 生 論 集 費	1,800,000	1,494,800	305,200
国 際 学 術 雑 誌 費	2,600,000	0	2,600,000	
計	9,000,000	3,294,248	5,705,752	
研 究 活 動 費	学 生 研 究 活 動 助 成 費	2,400,000	1,904,162	495,838
	そ の 他 (懸 賞 論 文)	300,000	0	300,000
計	2,700,000	1,904,162	795,838	
事 務 費	消 耗 費	10,000	822	9,118
	通 信 費	50,000	40,300	9,700
	雑 費	15,000	3,985	11,015
	会 議 費	20,000	7,150	12,850
	計	95,000	52,317	42,683
小 計	11,795,000	5,250,727	6,544,273	
予 備 費	2,976,433	3,381	2,973,052	
特 別 会 計 へ		0	0	
次 年 度 繰 越 金	3,015,000	9,104,433	-6,089,433	
合 計	17,786,433	14,358,541	3,427,892	

\*次年度繰越金予算額は2012年度新入生会費である。

## 項目説明

新入生会員費	2011年度入学生585名分
編転入生会員費	2011年度入学生13名分
大学院生会員費	2011年度入学生 5 名分+大学院在学学生
在学生会員費	2008～2010年度入学生分
前 受 金	2012年度入学者分が2011年度末に入金されるため2011年度の収入
前期末前受金	2011年度入学生分が2010年度末に入金されるため2010年度の収入

## 〈特別会計〉

前年度繰越金	19,375,964円
--------	-------------

## 9. 2011年度役員（案）について

会 長	大 前 真
副 会 長	伊 達 浩 憲
庶 務 委 員	小 峯 敦
会 計 委 員	李 慇 妍
会計監査委員	佐々木 淳

編 集 委 員	金 子 裕一郎（長）
	木 下 信
	谷 直 樹
	松 島 泰 勝

## 10. その他

執筆者紹介 (掲載順)

北原 淳	本学教授
姜 紅祥	本学非常勤講師
Teshome Temesgen Tilahun	本学経済学研究科 博士後期課程
B. NISHANTHA	本学経済学研究科 博士後期課程
Yoshio KAWAMURA	本学教授
川北博史	本学経済学研究科研究生

経済学論集 第51巻 第1号

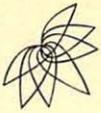
2011年7月1日 印刷

〔非売品〕

2011年7月10日 発行

発行所 龍谷大学経済学会  
代表者 大前 眞  
京都市伏見区深草塚本町67

印刷所 (株)富山房インターナショナル  
京都市南区吉祥院池田南町13



# RYUKOKU JOURNAL OF ECONOMIC STUDIES

Vol 51 No. 1 July 2011

## CONTENTS

### Articles

- Progression of Ownerless Land Development and  
Trials of Law Control.....Atsushi KITAHARA
- A Study of Foreign Direct Investment Promotion  
through Chinese “Go Abroad” Policy:  
Focusing on Technology Acquisition.....JIANG Hongxiang
- Socio-Economic Determinants of Food  
Shortage Problems in Ethiopia:  
The Case of Amhara National Regional State,  
Simada District (A Path Analysis Model).....Teshome Temesgen Tilahun
- The Role of Human and Social Capital on  
Small Enterprise Growth:  
Evidence from Sri Lanka.....  
B. NISHANTHA  
Yoshio KAWAMURA
- ### Notes
- Relationship between “Structure and Quality of  
Government” for “Economic Growth and  
Good Governance”.....Hirofumi KAWAKITA

